

【宮本委員案】

○ ハロウィンイベント実施事業について

事業開始から８年目を迎えているが、いまだに既存の附帯決議の趣旨が十分に実現されているとは言い難い。令和９年度当初予算審査までに下記事項について具体的な改善が示されない場合には、事業の廃止を含めた抜本的な見直しを行うべきことを強く求める。

- (1) 「認知度向上」を客観的に測定する調査手法の導入とその結果
- (2) 来場者・参加者数の集計方法の信頼性を担保する具体的な改善策
- (3) 成果指標の実態に即した見直し内容
- (4) 山口東京理科大学以外の担い手の拡大に関する具体的な方策

【藤岡委員案】

○ 中学生の文化・スポーツ活動体制整備事業について

休日の中学生の部活動の地域展開が進められているが、地域クラブ活動に対する生徒、保護者への周知・理解促進が十分届いておらず、中学校体育連盟が主催する大会への参加に支障を来す生徒がいることが明らかになった。

また、指導者不足や活動場所の確保など受け入れる地域クラブも多くの課題を抱えている実情がある。

については、地域クラブ活動を通じて、文化・スポーツ活動を行うことを希望する中学生が取り残されることがないように、より一層の体制整備を推進することを強く求める。